

<p>【教材・教具名】 お金の学習</p>	<p>【教科・領域】 算数</p>
<p>【教材の使用材料】 ラミネートフィルム マジックテープ お金の模型</p>	
<p>【ねらい】 日常生活に欠かせない金銭の勘定や支払いを、それぞれの実態に合わせて行えるようにする。</p>	
<p>○使用方法 算数の個別課題の時間に課題として提示した。</p>	
<p>○工夫した所 個々の児童の実態と課題に合わせた内容とした。さまざまな内容を準備して毎回の授業時後に振り返りと、刷新を行うことでより児童それぞれの課題に迫りやすくした。</p>	
<p>○効果 それぞれの児童に合わせた課題設定を行えたこと、教師同士でそれを毎回で、児童の力の伸びを教師が実感できる場面が多かった。 3桁の金額を見て、それぞれの位にお金を置く課題では、半数の児童が教材のシートを使わなくても、3桁の金額を見るだけで、お金を出すことができるようになった。</p>	